

磯野院長執筆書籍紹介

令和3年10月4日

当院の磯野院長が、「認知症診断の不都合な真実」(幻冬舎)という本を執筆致しました。本書では、当院のもの忘れ外来も担当し、20年以上認知症の患者さまと接してきた磯野院長が、「認知症とは何か」「他の精神科領域の疾患とはどう違うのか」を詳しく紹介しています。そして、患者さまが適切な治療に繋がり、患者さま本人にとってもご家族にとっても、穏やかで安心、安全な生活を送っていただけるよう寄り添い支えていく磯野院長の姿勢が詰まった一冊となっております。ぜひご一読ください。



防火対象物点検報告特例認定

令和3年10月27日

この度、埼玉森林病院では年に一度行う、防火対象物点検報告の義務を免除される特例認定を申請し、無事に認定を受けることができました。

特例認定は過去の点検・報告、消防法令違反などが過去3年間無いなど、様々な要件を満たしていることで申請ができ、最終は消防署職員による立ち入り検査を行った上で判断を行うものとなっております。

特例認定を3年ごとに更新していけるよう病院設備の維持に努めてまいります。

行事食(12/24 クリスマス) 編集後記



ご飯 クリームシチュー サラダ
チキンナゲット ミネストローネ
クリスマスケーキ



あけましておめでとうございます。
新型コロナウイルスで状況が一変して
から早2年が経過しました。
今年こそ収束の目処が立つことを
祈って、日々の健康を大切に過ごして
いただければと願っております。

広報委員 菊田



医療法人昭友会 埼玉森林病院

埼玉森林病院のホームページ <https://www.kokoro.or.jp/saitama/>〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 704
TEL0493-56-3191 FAX0493-56-4831

新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

さて、去年は、新型コロナに始まり新型コロナで終わるといふ、皆様にとっても大変な1年であった事と思います。世界中が新型コロナウイルス感染症のパンデミックの中、日本ではワクチン接種、オリンピック・パラリンピック開催、衆議院選挙・首相交代など様々な事があり、その度に、「多様性」がキーワードとなる中で、世論が二つに割れ「分断」がしばしば起こりました。特にSNSが発達した現代では、これまでの様に、マスコミからの情報だけで世論が動く時代から、大きく時代が変化していく兆しを感じました。このコロナ禍でこれまでの生活が一変してしまったという方も多くいらっしゃる事と思います。その様な方々には、心よりお見舞い申し上げたいと思います。

そんな中、我々、埼玉森林病院では地域のためにできる事をという思いで、新型コロナワクチン接種の集団接種会場候補地として手を挙げ、一昨年の秋に完成したばかりの森のホールを活用して、滑川町と一部嵐山町の町民の皆様へのワクチン接種のお手伝いをさせて頂く事が出来ました。この事で、これまで当院を知らなかった、知ってはいたが行った事はなかったといった地域住民の方々にも当院をご利用して頂ける機会となりました。そして、地域の方々をお迎えするにあたっては、職員皆で協力し知恵を出し合い、なんとか無事に2度の集団接種を終える事ができました。至らない点も多々あったかとは存じますが、当院をご利用頂いた方々には大変感謝致しております。

また、この集団接種がご縁で、その後、地域の皆様方に当院の内科外来、特定健診、皮膚科外来、歯科外来、もの忘れ外来、オレンジカフェなどを、新たにご利用頂くきっかけになったことは、当院にとっても大変喜ばしく、ありがたい事였습니다。当院では他にも、重度認知症患者デイケア、往診、訪問診療、訪問看護、訪問薬剤指導、訪問歯科診療などにも力を注いでおりますので、是非ご利用いただければ幸いです。

最後になりましたが、新しい年が皆様方にとって、素晴らしい年になることを祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお祈り申し上げます。

医療法人昭友会 埼玉森林病院
院長 磯野 浩

フラダンスショー

令和3年9月16日(木)

毎月病棟ごとにレクリエーションをおこなっています。
9月は職員によるフラダンスショーが開催しました。
ダンスが始まると、患者さまも一緒におどったり
手拍子をされていました。参加された患者さまからは「きれいだった」
「ハワイみたい」といった感想を聞くことができました。



とおかんや(十日夜) 令和3年11月1日(月)～11月5日(金)

デイケアなごみでは、「とおかんや(十日夜)」を行いました。
「とおかんや」は、子どもたちを中心に、群馬、埼玉、山梨、長野県にかけて
行われていた古くからの秋の行事だったのですが、いまではすっかり廃れてしま
いました。

デイケアなごみでは、毎日回想法を行っているのですが、その中で「とおかんや」
の話題があり、その語りを元に利用者さま方に再現していただきました。

「とおかんや、とおかんや」と独特な掛け声を唱えながら「藁鉄砲」というわらで
作ったとおかんや用の藁苞(わらづと)を地面に叩きつけて打ち鳴らします。
出身地域によっては初めてやったという方もいらっしゃいましたが、みなさん
楽しそうに取り組まれ「子どもの頃を思い出した」などの感想を話されました。

デイケアとしては、昨年に続き実施した行事なのですが、元々はスタッフは
全員知らない行事でした。利用者さまを中心に「とおかんや」を再現でき、こうし
て古くからの行事が消えないように伝承していくことの取り組みの大切さも
感じました。デイケア内で大切にしたい取り組みの一つです。



日本精神科看護協会埼玉県支部 看護研究発表会

令和3年11月28日(日)

日本精神科看護協会 埼玉県支部「看護研究発表会」に参加いたしました。
当院からは、看護研究1題、職員意識改善1題の計2題を発表させていただきました。
いずれの研究も興味関心の深いもので、会場からも多くの質問がありました。

患者さまにより良い看護を提供するために、看護師・看護補助等、多職種
チームとしての質の向上を目指している内容が多く見受けられました。すでに
当院でも取り組んでいる内容もありましたが、さらに改善してまいります。

1. D病棟 : 精神科病棟におけるグアーガム分解物を使用した
排便コントロール
2. E病棟 : 認知症患者に対する看護職員の意識改善
—カンフォータブルケアを用いて—



インフルエンザ予防 令和3年10月20日～令和4年1月31日(予定)

●インフルエンザとは

インフルエンザウイルスに感染することで起こる感染症で、感染力が強く
38℃以上の発熱や咳、のどの痛み、頭痛、倦怠感、関節の痛みなど全身症状
が現れます。

●予防のポイント

1. マスクを着用、帰宅後はすぐに石鹸による手洗い、うがいをしましょう。
アルコール製剤を使った消毒も有効です。
2. 予防接種をすることで、感染し発症しても重症化を防ぎます。
効果は5ヵ月ほど続きます。
3. インフルエンザウイルスは空気・飛沫感染をします。
出来るだけ人ごみは避けましょう。
4. バランスのとれた食事や十分な睡眠によって疲れを取ることで、
身体の抵抗力を高めましょう。
5. 加湿器などで50～60%の適度な湿度を保ちましょう。

●インフルエンザに感染したかもと思ったら・・・

- ・医療機関へ早めに受診をしましょう。当院も受診可能です。
- ・十分な睡眠をとり、水分補給をしましょう。
- ・症状が無くなってから、2日間は自宅療養することが望ましいです。